

「富津市ごみダイエット作戦100」

1 目的

市民1人のごみの排出量を1日当たり100g減量することを目的とします。

2 事業名

「富津市ごみダイエット作戦100」

3 事業の開始

平成31年度から

4 背景

平成28年度の富津市のごみの排出量は1人1日当たり1,056g/日で、千葉県平均の913g/日を143g上回っており、県内54市町村のうち11番目に多い排出量となっています。

また、ごみ処理にかかる経費は年間で約7億3,000万円かかっています。

ごみの減量を推進することは、環境への負荷を軽減し、処理経費の軽減にも繋がることから、ごみの発生抑制・減量化に取り組むことが急務となっています。

5 ごみ処理状況等

(ごみ処理状況推移)

単位：t

区分	年度	25	26	27	28	29
搬入	可燃ごみ	15,196	15,194	14,818	14,782	14,643
	不燃ごみ	565	591	616	525	573
	資源ごみ	1,513	1,441	1,389	1,270	1,228
	粗大ごみ	308	312	413	349	392
	容器プラ	252	247	260	247	248
	合計	17,834	17,785	17,496	17,173	17,084
	前年度比(%)	98.4	98.1	98.4	98.2	99.5
処理	焼却	16,868	16,845	16,598	16,386	16,248
	し尿	876	898	938	884	837
資源ごみ集団回収量		777	700	659	622	543

人口(人)	47,778	47,295	45,645	46,158	45,493
1人当たりの排出量(g/日)※家庭系	684	688	679	665	658
1人当たりの排出量(g/日)※事業系	376	383	384	391	404
合計	1,060	1,071	1,063	1,056	1,062

※1人1日当たりの排出量(g) = (搬入量(t) + 集団回収量(t)) ÷ 人口(人) ÷ 365日 × 1,000,000 (※平成28年度清掃事業の現況と実績より)

6 処理及び維持管理費

(ごみにかかる処理及び維持管理経費の推移)

単位：千円

年 度	2 5	2 6	2 7	2 8	2 9
人 件 費	47,402	43,108	46,003	47,330	45,156
処 理 費	39,112	45,981	34,363	46,307	44,704
委 託 費	740,767	755,072	737,149	636,012	672,836
合 計	827,281	844,161	817,515	729,649	762,696

7 再資源化の現状

富津市のごみの分別は13種別で行っており、各種資源化の現状は次のとおりです。

①可燃ごみ・・・株式会社さくらシステムによる溶融処理（メタル・スラグは再利用）

②資源ごみ（ビン・缶・ペット）

・・・環境センターの資源化施設にて選別・圧縮処理の後、再生事業者へ売却

③不燃ごみ・・・資源ごみと同じ

④容器包装プラスチック・・・容器包装リサイクル法に従い、民間処理施設にて再資源化

⑤粗大ごみ・・・環境センターにおいて選別・解体処理の後、溶融処理

（資源ごみ）⑥繊維類・⑦新聞・⑧雑誌・⑨ダンボール・⑩その他紙製容器・⑪紙パック

・・・民間の再生資源収集業者に直接搬入

（有害ごみ）⑫乾電池・⑬蛍光灯・・・選別・破砕の後、再生事業者へ搬出

なお、平成29年度の資源化の状況は別紙「資源化フロー図」のとおりです。

8 減量に向けた考え方

富津市においては、資源ごみ、不燃ごみ、容器包装プラスチック等は概ね再資源化が行われていますが、可燃ごみは溶融処理後の副生成物であるメタル・スラグにより再資源化はされているものの、再資源化率は低く、また、焼却処理に要する株式会社さくらシステムへの年間委託料は約4億8500万円（平成29年度決算額）となっており、多額の経費が支出されています。よって、減量化については主に「可燃ごみ」にターゲットを絞り、対策を推進していきます。

なお、平成29年度の「可燃ごみ」のみの排出量は1人1日当たり882g/日で、過去5年の推移は次のとおりです。

(可燃ごみ搬入量の推移)

年 度	2 5	2 6	2 7	2 8	2 9
可燃ごみ搬入量(t/年)	15,196	15,194	14,818	14,782	14,643
1人当たりの排出量(g/日)	871	880	889	877	882

9 事業の進め方

市ホームページや広報紙、区長回覧、各種イベント（チラシ配布等）、出前講座等を活用し、市民がごみ減量化、資源化に向けた、取り組みやすい情報の提供（手法のPR、家庭での成功例の募集公表等）等を実施し、当事業を幅広く呼びかけていきます。

◎家庭系ごみ

現在、一般家庭からのごみは13分別にて収集しており、ごみの減量を推進するには、この分別を徹底することなど、市民が、3R（リデュース・リユース・リサイクル）を取り入れたライフスタイルを心がけることが必要です。

◎事業系ごみ

事業者による資源物の分別は各事業者により行われており、さらなる分別が可能であると考えられることから、千葉県が作成した「事業系一般廃棄物の削減対策指導ガイドライン（平成28年3月）」を参考に対応を図ります。

各事業所への情報提供（ごみの分別・適正排出・適正処理・再資源化の案内及び再資源化事業所の紹介など）については、事業者用パンフレットを作成し、収集運搬許可業者や商工会の協力も得ながらPRを行い、排出者の意識向上を図ることが必要です。

◎削減された経費について

削減された経費の一部は、市民生活に直結した事業（子育て支援、防災、教育など）に充てます。

《3Rとは…》

○リデュース(ごみを減らす)

商品を買う前にチェック！（必要なものだけ、物を大切に…）

生ごみを減らす！（生ごみ水切り、食品ロスを出さない、エコクッキング…）

○リユース(繰り返し使う)

修理や別用途で使い切る！

必要とする人に譲る！（いらなくなった物は必要人に…）

○リサイクル(再利用する)

分別を徹底する！（正しい分別の知識…）

資源ごみ集団回収活動の推進！

など

10 目標値の設定

平成29年度の市民1人1日当たりのごみの排出量（1,062g）を基準とし、100g減量することを目標としますが、目標値については、段階的に設定し、段階的な目標が達成できた時点で、削減された経費の一部を市民生活に直結した事業に充てます。

なお、最終目標値が達成した時点で事業の見直しを行い、ごみ減量の取り組みについては継続していきます。

第1目標値	20g	200万円
第2目標値	40g	400万円
第3目標値	60g	600万円
第4目標値	80g	800万円
最終目標値	100g	1,000万円

11 取り組み結果等の公表

当事業の取り組み状況及びその結果については、ごみの排出量を3ヶ月ごとに集計し市ホームページ及び広報紙で公表します。

また、1年間の取り組み結果を次年度の6月に市ホームページ及び広報紙で公表します。